

高等学校「現代文B」学習指導案

埼玉県立所沢北高等学校

授業者 黒崎 匠

1 科目

現代文B 「精選 現代文B 改訂版」 筑摩書房

2 単元名・教材名

評論 大澤真幸「リスク社会とその希望」

3 生徒の実態と単元設定の意図

(1) 生徒観

3年〇組は非常に明るく、活発なクラスであり、ペアワークやグループワークでは積極的に課題に取り組んでいる。授業に取り組む態度は考査の得点等にも好影響を与えており、3学年理系クラスの中でも平均得点が高いクラスである。しかし、これは3学年理系クラス全体にとっても言えることではあるが、自ら文章を記述する能力に関しては未だ課題がある。与えられた文章に対して、意欲的に取り組み、課題解決を志向するものの、そこから読み取った情報や頭の中にある解答をうまく書きだすことができない、といった様子が見受けられる。今回の単元は、3学年理系クラスにとって最後の単元になるため、上記の課題を踏まえて、将来的に文章を記述できる力を身に付けられるよう、生徒たちにはその端緒として学習を進めてもらいたい。

(2) 教材観

筆者の大澤真幸氏は社会学者であり、当単元で扱う「リスク社会とその希望」という文章も現代社会の問題点を指摘したものである。題名にある通り、その内容としては近年取りざたされることの多いリスク社会について述べられたものである。概要としては、リスク社会が成立するまで、リスク社会のリスクが持つ特徴、リスク社会が現代社会にもたらす効果、といった3点である。生徒たちにとっても、「危機管理」や「リスクマネジメント」という言葉は耳馴染みのあるものであろうし、高校を卒業し、段々と社会へ巣立っていく彼らにとって、それらはまったくの他人事ではいられない問題である。ぜひ、身近な問題として引き付けて、自らの将来と共に一考してもらいたい。

文体として、さほど複雑な構造を持ってはいないが、ところどころに社会学特有の用語や、基礎概念が見受けられる。今回の授業でそれらの社会的要素を深く解説することはしないが、本文に含まれる具体例等を参照しながら、理解を促す必要はあるかと思われる。また、この文章は、リスク社会がもたらす効果を述べるところで終わってしまっており、そこからどのような課題・問題点が見つけられるのか、それらに対してどのように考え、解決していくべきなのかといった点については触れられていない。そのため、生徒たちが自ら意見を構築する余地が多分に残されているといえよう。単純に内容を読み取るだけに終始せず、自身の意見を投げ返すことができる教材である。

（３）本単元で工夫する手立て

本単元を通して、「文章を読んで批評し、社会へ目を向けながら自らの考えを深め、表現する」能力を養うことを目的とする。前述のとおり、該当クラスの生徒は自らの考えを記述することを苦手としており、まとまった論理的な文章を叙述することが難しい。そのため、教科書の文章を基にして、それに対して意見を述べるという小論文の形式で記述力を養成したい。

また、その際いきなり一人で書き始めることは困難であると思われるため、グループワークを通して、意見交換を行いながら、自らの考えを固める過程を設けたい。文章を書き始める前に、まずは話すことを通して意見を構築しながら、他者の意見も取り込み、最終的に文字に起こしていくという流れを授業内で再現できるよう構成を工夫する。

４ 単元の目標と取り上げる言語活動

単元の目標

- （１）文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりしようとする。（関心・意欲・態度）
- （２）文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすることができる。（読む能力）（内容（１）のウ）
- （３）目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現することができる。（書く能力）（内容（１）のエ）
- （４）語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにすることができる。（知識・理解）（内容（１）のオ）

取り上げる言語活動

論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。（内容（２）のイ）

５ 単元における具体の評価規準

	関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	知識・理解
学習活動における 具体の評価規準	①自分の考えをもち、積極的に意見交換をしようとしている。 ②本文の読解や話し合い活動で得た知見を生かして、積極的に小論文を作成しようとしている。	①文章から筆者の意見を正確に読み取っている。 ②筆者の意見に対して批評的立場で評価している。	・筆者の意見に対する自分なりの意見を、論理的かつ明確に叙述している。	・「近代」という概念を理解し、具体的な事件や用語を連想できている。

６ 単元の指導と評価の計画（全３時間扱い）

時	主な学習活動	具体的な評価規準と評価方法
１	・単元で扱う文章のテーマを確認し、基礎的な事項を確認する。 ○「アンパンマンのマーチ」の歌詞について考えることを通して、「自由」や「自己決定」について自由に考える。 ○「リスク社会」の前提となっている「近代」という概念に関して確認する。（グループワーク、ワーク	【評価規準】 ・自分の考えをもち、積極的に意見交換しようとしている。（関心・意欲・態度）① ・「近代」という概念を理解し、具体的な事件や用語を連想できている。（知識・理解）

	シート) ○「リスク」と「デンジャー」の違いについて、本文中の記述をまとめる。(グループワーク、ワークシート) ○適宜各班を指名し、ワークシートにまとめた内容を発表する。	・文章から筆者の意見を正確に読み取っている。 (読む能力) ① 【評価方法】 机間指導により話し合いの様子を観察、また記述の点検を行う。 ワークシートにまとめた発表内容の記述の確認を行う。
2	・本文の内容を確認する。 ○「リスク社会が持つリスク」の特徴をまとめる。 (グループワーク、ワークシート) ○「リスク社会がもたらす効果」についてまとめる。 (グループワーク、ワークシート) ○適宜各班を指名し、ワークシートにまとめた内容を発表する。	【評価規準】 ・文章から筆者の意見を正確に読み取っている。 (読む能力) ① ・自分の考えをもち、積極的に意見交換をしようとしている。 (関心・意欲・態度) ① 【評価方法】 机間指導により話し合いの様子を観察、また記述の点検を行う。 ワークシートにまとめた発表内容の記述の確認を行う。
3	・本文の内容を踏まえ、小論文を作成する。 ○「リスク社会がもたらす効果」を踏まえて、それが現代の社会にどのような問題を引き起こすのかを考察する。(グループワーク、ワークシート) ○適宜各班を指名し、ワークシートにまとめた内容を発表する。 ○「リスク社会」が引き起こす問題に対して、自らの意見を構築し、小論文を作成、提出する。	【評価規準】 ・筆者の意見に対して批判的立場で評価している。 (読む能力) ② ・自分の考えをもち、積極的に意見交換をしようとしている。 (関心・意欲・態度) ① 【評価方法】 机間指導により話し合いの様子を観察、また記述の点検を行う。 ワークシートにまとめた発表内容の記述の確認を行う。 【評価規準】 ・筆者の意見に対する自分なりの意見を、論理的かつ明確に叙述している。 (書く能力) ・本文の読解や話し合い活動で得た知見を生かして、積極的に小論文を作成しようとしている。 (関心・意欲・態度) ② 【評価方法】 回収したワークシートの記述の分析を行う。

7 本時の目標と評価の計画（3/3 時間目）

（1）本時の目標

- ・話し合い活動に積極的に参加し、そこで考えたことや新しく得た意見を生かして小論文を作成しようとしている。
（関心・意欲・態度）
- ・本文の展開や筆者の主張を整理したうえで、現実の社会に根差した問題点を考察し、それに対する意見を持つことができる。
（読む能力）
- ・グループ内で出た意見を踏まえて、自らの意見を構築し、論理構造や読みやすさに留意しながら小論文を作成することができる。
（書く能力）

（2）本時の展開

段階時間 (分)	主な学習活動	○指導上の留意点 【評価の実際】
導入 (5)	(1)本時の流れ、目標を確認する。 (2)グループ内で前回の内容を復習する。 以下、グループワーク	○前時の学習を踏まえて考察を行っていくことを強調し、内容の断絶が起こらないよう注意する。
展開 (10) (10)	(3)「リスク社会がもたらす効果」を踏まえて、「リスク社会が引き起こす問題点」とは何かを考察する。 (4)問題点を踏まえて、それに対しどのような解決策、意見があるかをグループ内で確認する。	○生徒の話し合いの様子を見ながら細かく発問を投げかける。 ○小論文作成を見据えて、筆者の立場に対して肯定・否定のどちらの立場なのかを明確にしたうえで、どのような意見が考えられるか自由に発想させる。 【評価規準】 ・自分の考えをもち、積極的に意見交換をしようとしている。（関心・意欲・態度）① ・筆者の意見に対して批判的立場で評価している。（読む能力）② 【評価方法】 机間指導により話し合いの様子を観察、記述内容の点検を行う。
(35)	(5)展開・構成に注意しながら、小論文を作成・提出する。	○小論文の書き方が全くわからない生徒もいると考えられるので、書き方を解説したプリントを用意したうえで、机間指導を丁寧に行う。 【評価規準】 ・筆者の意見に対する自分なりの意見を、論理的かつ明確に叙述している。（書く能力） ・本文の読解や話し合い活動で得た知見を生かして、積極的に小論文を作成しようとしている。（関心・意欲・態度）②

まとめ (5)	(6)次回の授業内容の見通しをもつ。	【評価方法】 回収したワークシートの記述の分析を行う。 ○期末考査の範囲を確認し、考査勉強を促す。
--------------------	---------------------------	--